



「アルケリス」が立ち仕事において、 最大41%足腰への負担軽減効果があると評価されました！

令和3年度厚生労働省「高年齢労働者安全衛生対策機器実証事業」にて採択され、
「アルケリス」が立ち作業時の疲労部位に負担軽減効果があるか検証されました

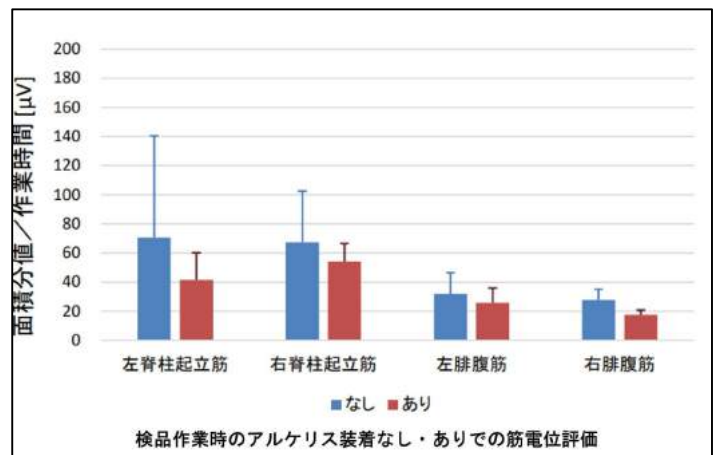
試験内容

試験実施：令和3年11月
 実証機関：一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会
 対象者：16名（67～78歳 男女各8名）
 対象作業：検品、分類、ラベリング作業
 試験評価：アルケリス装着有・無における疲労度や
 疲労軽減状況を、筋電位測定および主観
 評価にて確認



実証結果

- ①アルケリス装着時、
 - ・腰の両側（脊柱起立筋）
 - ・両側のふくらはぎ部（腓腹筋）
 筋活動が、最大41%減少しました。
 （減少率：左側脊柱起立筋41%、右側脊柱起立筋20%、左腓腹筋20%、右腓腹筋37%程度）
- ②アンケートでは、各作業により生じる
 「腰部の疲労感が、アルケリスの使用により軽減する」と言う一定の評価いただきました。



※実証報告書詳細は、厚生労働省HPからご覧ください。 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19051.html

高年齢労働者「安全衛生対策機器」実証事業について

厚生労働省が委託する実証機関にて、客観的に労働災害防止の対策機器の実証し、結果を公表することにより、適切な安全衛生対策の選択・導入を後押しし、高年齢労働者安全衛生対策の推進を図ることを目的としています。

令和3年度は、『立ち作業時の足腰の負担軽減効果および機器の装着性・操作性』の観点にて、アルケリスの効果等を実証いただきました。